

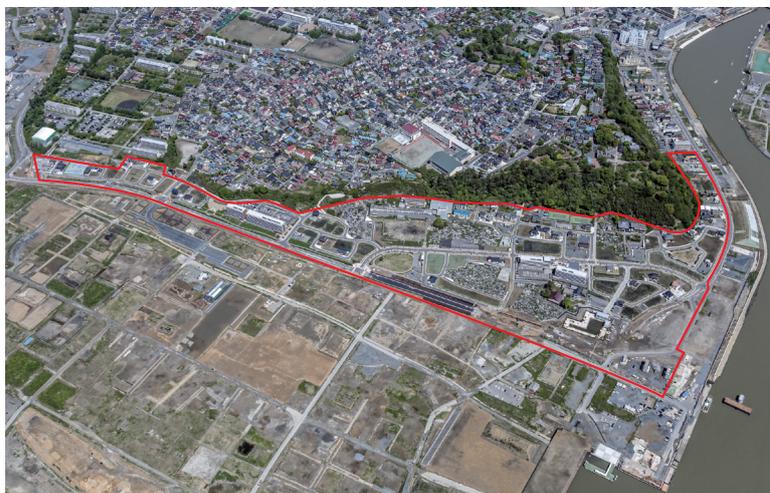
タイムトリップ



被災前 昭和 59 年 11 月



被災直後 平成 23 年 5 月



平成 30 年 5 月



被災直後 日和山から南浜方面



被災直後の地区 打ち寄せられた家屋とがれき 平成 23 年 10 月 日和山から南浜方面



門脇西復興住宅



門脇東復興住宅

新門脇地区／宮城県石巻市

石巻市新門脇地区周辺は、被災前は戸建て住宅が建ち並ぶ住宅地でしたが、東日本大震災の大規模な津波によって、ほとんどの家屋が流失し、市内で最も壊滅的な被害を受けました。

URは、平成 24 年 1 月から石巻市に職員を派遣し、復興計画策定の支援をしてきました。特に新門脇地区は、既存の家屋や寺院・墓地もあり造成や基盤整備が難しく、また、地権者が約 450 人と多いことから、市からの要請により土地区画整理事業、下水道事業および復興公営住宅整備事業を一体的に受託しました。

復興公営住宅の 2 カ所（計 151 戸）については、平成 28 年度までに整備・引き渡しを完了。今般、土地区画整理事業に伴う工事が全て完了し、8 月 18 日（土）に竣工式典を行いました。

事業は、平成 31 年 1 月末に換地処分公告を行い、年度末に受託業務を完了させる予定です。